

新球場誘致に係る関連調査等業務委託 仕様書

1 業務名

新球場誘致に係る関連調査等業務委託

2 業務目的

本町では、「生涯学習・生涯スポーツの充実」の取り組みとしてスポーツを通じた健康増進の取り組みや、生涯スポーツ活動の支援として、施設の充実や環境づくりに取り組むこととしている。

また、熊本県では、野球場やアリーナ等のスポーツ文化施設の建設再建に向け、「県が主導して意欲のある市町村や事業者と協力し、官民一体となった議論を進め、責任ある事業主体による建設再編の方向性を決める」との方向性が示唆される等、熊本県営球場を取巻く環境は大きく変化している。

今後の熊本県によるスポーツ文化施設の建設再建に向けた動きに対応し、本町への新球場誘致の実現に必要な情報整理を目的とする。

3 委託期間

契約締結日翌日から令和6年7月19日まで

4 業務内容

新球場誘致に係る関連調査を効率的に進めるため次の業務を行うものとする。

なお、業務内容については、新球場誘致に必要と思われる事項を示したものであり、プロポーザルの実施において決定した受託者の企画提案等により仕様の変更を行う場合がある。

(1) 新球場整備の必要性及び効果の整理

熊本県が推進する施策及び動向等踏まえ、新球場整備の必要性及び効果を整理する。

(2) 新球場整備候補地の選定

新球場整備候補地（町内）を選定し、当該地に新球場を整備した場合のイメージを整理する。

(3) 新球場誘致に係る熊本県への提案内容の整理

本町の立地や町が所有する公共施設等の利点を活かし、県内他市町村にはない本町独自の提案内容を整理する。

(4) 類似関連施設の事業スキームの調査・整理

国内類似関連施設のうち、コンセッション方式を含むPPP・PFI事業や企業版ふるさと納税の活用等、官民連携による資金調達手法を活用している事業及びその事業スキームについて調査・整理を行い、本件における官民連携、官民連携のスキームを整理する。

5 成果品

想定する成果品は次のとおりとする。

- (1) 新球場整備の必要性及び効果を整理した報告書
- (2) 新球場整備候補地を明示した位置図
- (3) 新球場誘致に係る熊本県への提案内容の整理報告書
※(1)、(2)、(3)を整理し、A3用紙1枚程度にまとめること。
- (4) 類似関連施設の事業スキームを調査・整理した報告書
- (5) 新球場構想イメージパース図 1カット(A3版1枚)
- (6) 新球場構想ゾーニングイメージ図 1カット(A3版1枚)
- (7) 電子データ 一式

6 その他

(1) 業務管理

- ① 受託者は、本業務を円滑に進めるため、十分な知識と経験を有する者を配置すること。
- ② 受託者は、業務の遂行に当たり、本業務に係る関係法令を順守しなければならない。

(2) 秘密保持

受託者は、本業務で知り得た個人情報やその他の秘密を他に漏らしてはならない。履行期間終了後も同様とする。

(3) 損害賠償

受託者は、業務中に生じた事故並びに町及び第三者に与えた損害に対して責任を負い、町の指示に従い、受託者の責任において処理するものとする。

(4) 資料の借用

受託者は、本業務に必要な資料で、町が所有している提供可能な資料について借用を申し入れることができる。借用に当たっては借用書を提出し、借用期間中は適正に管理するとともに、業務終了後速やかに返却しなければならない。

(5) 成果品等の帰属

本業務で作成された成果品及び成果品に係る権利は、町に帰属するものとする。受託者は、町の許可なく他に公表、貸与及び使用してはならない。

(6) 疑義の解決

本仕様書に記載された内容に疑義が生じたとき、又は定めのない事項が生じたときは、受託者は町と協議を行い、業務の遂行に支障のないように努めなければならない。

(7) 業務完了報告及び完了検査

受託者は、業務を完了したときは、町に対し業務完了報告書を提出しなければならない。町は、業務完了報告書を受領したときは、完了検査を行い、検査に合格したときは、受託者に対し検査合格の通知を行う。

(8) その他

- ① 業務完了後、受託者の責に帰すべき理由により成果物に不良箇所が発見されたときは、受託者は速やかに訂正、補正、その他必要な措置を行うものとし、これに要する経費は受託者の負担とする。
- ② 仕様書に記載されていない事項であっても、業務の遂行上必要と認められる事項については、協議の上、実施すること。